

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

DEX
Medical Gateway
バージョン 4.01リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DEX Medical Gateway」(Ver.3.01-01→Ver.4.01-01)において、
下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[概要]

- ・製品名称を『DEX Business Server Medical Gateway』から『DEX Medical Gateway』に変更しました。

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials※32ビット版アプリケーションとして動作します。
※Windows Server Core 機能での動作には対応していません。
- ◎以下のデータベースに対応しました。
 - ・ Oracle 12c
 - ・ Microsoft SQL Server 2014
- ◎以下のブラウザに対応しました。
 - ・ Internet Explorer 11
- ◎「TLS v1.2」による SSL 通信に対応しました。
- ◎「SSL v3」による SSL 通信を非対応にしました。
- ◎S/MIME による暗号化で以下の暗号アルゴリズムに対応しました。
 - ・ RC5
 - ・ AES
- ◎S/MIME による暗号化の以下の暗号アルゴリズムを非対応にしました。
 - ・ DES
 - ・ RC2
 - ・ RC4

[転送履歴管理機能関連]

◎ICSR ファイル転送履歴の転送履歴検索結果画面に表示する項目を以下のとおり変更しました。

- ・ E2B フォーマットのバージョンを表示する「E2B」を追加
- ・ ICSR ファイルの転送を行った日時を表示する「ICSR 転送日時」を追加
- ・ ACK ファイルの転送を行った日時を表示する「ACK 転送日時」を追加
- ・ 「ステータス」から「状態」に名称を変更
- ・ 「応答コード（伝送）」「応答コード（報告）」を「応答コード（伝送／報告）」に変更
- ・ 「ICSR 業務日時」を削除
- ・ 「ACK 業務日時」を削除

◎ICSR ファイル転送履歴の転送履歴検索結果画面の項目の表示順を変更しました。

◎ICSR ファイル転送履歴の転送履歴詳細画面に表示する項目を以下のとおり変更しました。

- ・ E2B フォーマットのバージョンを表示する「E2B バージョン」を追加
- ・ 緊急報告かどうかを表示する「緊急報告」を追加

◎ICSR 症例転送履歴の転送履歴検索結果画面に表示する項目を以下のとおり変更しました。

- ・ 緊急報告かどうかを表示する「緊急報告」を追加
- ・ 「ステータス」から「状態」に名称を変更
- ・ 「MDN 転送日時」を削除

◎ICSR 症例転送履歴の転送履歴検索結果画面の項目の表示順を変更しました。

◎ICSR 症例転送履歴の転送履歴詳細画面に表示する項目を以下のとおり変更しました。

- ・ E2B フォーマットのバージョンを表示する「E2B バージョン」を追加
- ・ 緊急報告かどうかを表示する「緊急報告」を追加

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[ファイル転送機能関連]

- ・ メールボックスに大量のメールが存在する場合、ICSR の送信後に規制当局より返信された MDN をメールボックス内で検索して受信するのに時間が掛かることがある。
- ・ IMAP を使用したファイル転送でエラーが発生した場合に、「DEX Business Server Service」が停止することがある。
- ・ AS2 プロトコルによる非同期通信の場合、フォルダ転送中にステータスの変更があると、フォルダ転送が終了しない。
- ・ SHA2 または MD5 の MIC アルゴリズムで AS2 プロトコルによる非同期通信を行うと、処理結果が「処理済み（異常）」となる。

[証明書管理機能関連]

- ・ 証明書管理ツールで自己署名証明書が登録できないことがある。
- ・ 証明書管理ツールで登録済みの自己署名証明書と CSR および秘密鍵が同じ自己署名証明書を登録すると、次の証明書管理ツールの起動時にエラーダイアログが表示されて起動されない。

[転送履歴管理機能関連]

- ・ ICSR ファイルの以下のデータに「|」（シングルクォーテーション）が含まれていると、転送履歴情報がデータベースに保存されない。
 - ・ 送信者が保有している資料一覧
 - ・ 引用文献

- ・バージョンアップインストールすると、転送履歴情報のデータベースへの保存で、ACK ファイルの以下のタグ情報が 251 バイト以上であると保存されない。
 - ・「パーシングエラーメッセージ」タグ
 - ・「報告に対するエラーメッセージ、または意見」タグ
- ・データベースに Oracle を使用している場合、ICSR ファイル転送履歴および ICSR 症例転送履歴の転送履歴検索画面で、以下の項目に ICSR を送信または受信したフォルダが指定できない。
 - ・「転送」 - 「ICSR 転送フォルダ名」
- ・ICSR ファイル転送履歴の転送履歴検索結果画面で、「転送ユーザ」で転送履歴情報がソートされない。
- ・ICSR 症例転送履歴の転送履歴詳細画面で、「伝送確認応答コード」に「報告の確認応答コード」の値が表示されている。
- ・範囲を指定して PDF 形式で転送履歴検索結果を印刷すると、総ページ数が正しく出力されない。
- ・ICSR ファイル転送履歴または ICSR 症例転送履歴で、「症例報告」で検索した結果を印刷すると、「症例報告」の内容が部分一致する転送履歴情報が存在するにもかかわらず、空のファイルが作成される。

[運用管理機能関連]

- ・「DEX Business Server Service」、「CJS File Monitor」の開始時および停止時に、以下の不正なログが Windows イベントログに出力される。
 - <ログ>
 - 説明：ソース"DEX-TG"からのイベント ID2 の説明が見つかりません。

[マニュアル関連]

- ・Ver.3.01-01 で個別症例安全性報告の新フォーマット「ICH E2B (R3)」に対応したことにともない、転送履歴情報をデータベースへ保存するコマンドラインが変更になったが、『ユーザズガイド』の記述が古いままである。
 - <誤>
 - DEXParser.exe REC_DB
 - <正>
 - DEXMGUtility.exe MAKETH
- ・『ユーザズガイド』の「10-1-1 その他の設定について」 - 「ログ・トレースの設定」に、設定ができない以下のログについての説明がある。
 - ・フォルダ連携ログ
 - ・証明書管理ログ

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.5	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 Standard	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 Essentials	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials	—	○

○：確認済み —：対象外

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作する必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

本およびその他の国における登録商標または商標です。